

令和7年度

**利尻富士町教育委員会点検・評価報告書
【令和6年度分】**

令和7年9月

利尻富士町教育委員会

I. はじめに

1 趣旨

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和6年度の教育行政事務の管理執行状況について点検・評価を行い、その結果を公表するものである。これにより、今後の効果的な教育行政の推進と町民への説明責任を果たしていく。

2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、教育委員会の活動状況等のほか、「令和6年度教育行政執行方針」に掲げられた主要な施策に基づき、次の主要な事務事業の実施状況とする。

1. 可能性を引き出す小中一貫教育の推進
2. 学びと質を高める環境の確立
3. 地域との持続可能な教育活動の実現
4. 生涯学習と社会教育の充実

3 点検・評価の方法

「教育委員会の活動状況」については、教育委員会会議の開催状況や委員が出席した行事等の点検を行った。

「主要な施策の点検・評価」については、「令和6年度教育行政執行方針」に掲げられた主要な事業の内容や取り組み状況を取り上げ、自己評価では、取り組みの成果や達成度を記述し、今後の課題については、取り組みを通じて明らかになった課題や、次年度に向けた改善点を記述している。

II 教育委員会の活動状況

1 教育委員会会議の開催及び審議状況

令和6年度における利尻富士町教育委員会の会議は10回開催され、次のとおり審議等を行なった。

開催日	出席委員	付議案件等
第3回 4月4日 (木)	3名	報告事項 ・一般報告事項 議案第11号 教育委員会事務局職員の任免について その他 ・教育委員会事務局組織図について ・令和6年度学級編成について（R6.4.1現在） ・令和6年度児童生徒名簿について ・令和6年度教職員名簿について ・令和6年度小中学校担任一覧について
第4回 6月14日 (金)	3名	報告事項 ・一般報告事項 議案第12号 令和6年度一般会計歳入歳出教育費補正予算（6月補正）について 議案第13号 専決処分（利尻富士町社会教育委員の委嘱）の承認を求めることについて 議案第14号 専決処分（利尻富士町スポーツ推進委員の委嘱）の承認を求めることについて 議案第15号 専決処分（利尻富士町文化財専門委員の委嘱）の承認を求めることについて 議案第16号 専決処分（利尻富士町学校運営協議会委員の委嘱）の承認を求めることについて その他 ・建設事業進捗状況について
第5回 8月21日 (水)	2名	報告事項 ・一般報告事項 議案第17号 専決処分（利尻富士町教育委員会事務局組織規則の一部改正）の承認を求めることについて

開催日	出席委員	付議案件等
		<p>議案第18号 専決処分（利尻富士町公民館管理規則の一部改正）の承認を求めることについて</p> <p>議案第19号 令和6年度一般会計歳入歳出教育費補正予算（9月補正）について</p> <p>議案第20号 令和7年度使用小・中学校用教科用図書の採択について</p> <p>議案第21号 専決処分（利尻富士町教育支援委員会委員の委嘱）の承認を求めることについて</p> <p>議案第22号 利尻富士町教育委員会点検・評価報告書について</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について ・建設事業進捗状況について ・産前休暇者について
<p>第6回 10月9日 (水)</p>	<p>4名</p>	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般報告事項 <p>議案第23号 学校職員の任免について</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産前休暇者について ・児童生徒、教職員について ・町文化祭プログラムについて
<p>第7回 12月4日 (水)</p>	<p>4名</p>	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般報告事項 <p>議案第24号 学校職員の任免について</p> <p>議案第25号 平成6年度利尻富士町一般会計歳入歳出教育費補正予算（12月補正）について</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設事業進捗状況について ・「二十歳の集い」について
<p>第1回 1月17日 (金)</p>	<p>3名</p>	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般報告事項 <p>同意案第1号 利尻富士町教育委員会教育委員の辞職について</p>

開催日	出席委員	付議案件等
<p>第2回 3月5日 (水)</p>	<p>3名</p>	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般報告事項 <p>議案第1号 令和6年度利尻富士町一般会計歳入歳出教育費補正予算について</p> <p>議案第2号 令和7年度利尻富士町教育行政執行方針について</p> <p>議案第3号 令和7年度利尻富士町一般会計歳入歳出教育費予算について</p> <p>議案第4号 利尻富士町教育支援委員会の報告について</p> <p>議案第5号 令和7年度利尻富士町通学用自動車の利用者認定について</p> <p>要望第1号 北海道利尻高等学校要望書について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育文化後援会補助金 ・ふるさと教育補助金 ・模擬試験及び検定試験補助金 ・地域連携活動補助金（新規） <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産前・産後・育児休暇者について ・婚姻による記録事項変更について ・令和7年度就学学齢児童生徒名簿について
<p>第3回 3月25日 (火)</p>	<p>2名</p>	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般報告事項 <p>議案第6号 利尻富士町立学校職員の新型コロナウイルス感染症対策における在宅勤務実施要領の廃止について</p> <p>議案第7号 利尻富士町立学校職員の在宅勤務実施要領について</p> <p>議案第8号 利尻高等学校入学者学習用端末購入費助成事業実施要綱について</p> <p>議案第9号 利尻富士町地域クラブ活動事業実施要綱について</p> <p>議案第10号 学校職員の任免について</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4回教育委員会、教職員着任式（辞令交付式）について ・令和7年度入学式について

*議事録は下記より閲覧可能



2 教育委員会会議以外の活動状況

利尻富士町教育委員会委員は、次のとおり出席した。

※ 教育長を除く

期 日	内 容	開催場所	出席委員
4月 4日	利尻富士町教職員着任式	利尻富士町役場	佐藤、寺島、 成田
4月 5日	利尻小・鬼脇中学校入学式	利尻小・鬼脇中学校	寺島
4月 8日	鴛泊中学校入学式	鴛泊中学校	成田
7月18日	北海道市町村教育委員会研修会	札幌市	佐藤、寺島、 山澤
10月 9日	学校訪問	鴛泊中学校	佐藤、寺島、 成田
10月24日	管内教育委員研修会 臨時教育委員会	オンライン	佐藤、寺島、 成田
11月 3日	町功労者表彰式	総合交流促進施設 りぷら	佐藤
12月 2日	中学生主張大会	鴛泊中学校	成田
12月 4日	学校給食組合教育委員会	利尻富士町役場	佐藤、寺島
1月 4日	二十歳の集い	総合交流促進施設 りぷら	佐藤、寺島、 成田
3月 5日	学校給食組合教育委員会	利尻富士町役場	佐藤、寺島
3月17日	利尻富士町育英資金運営審議会	利尻富士町役場	佐藤、成田
3月17日	第1回総合教育会議	利尻富士町役場	佐藤、寺島、 成田

Ⅲ 主要な施策の点検・評価

1 可能性を引き出す小中一貫教育の推進

【施策の概要】

令和5年度に開始された「りしり富士小中一貫教育」が2年目を迎えた。新たに策定された「利尻富士町学校教育推進計画」に基づき、子どもたちの資質・能力の向上を目的として、個別最適な学びと協働的な学びを推進する。また、複式学級の増加が予想される中で、その利点を活かしながら、基礎・基本的な学力の確実な定着と、子ども一人ひとりの発達段階に応じたきめ細かな指導計画をさらに目指していく。

【具体的な取り組み】

【全体】

- ・ 校長会・教頭会との協議、進捗状況等の情報共有
- ・ 学習規律や生活のきまりの整理・統一（小中高生徒指導連絡協議会の開催 年2回）
- ・ A L Tの継続配置による外国語教育及びコミュニケーション能力の推進
- ・ 全道規模で行われた学校種間連携サポート事業への参加と情報交流
- ・ 小中9年間を見通した教育課程の編成を行った。

【鬼脇地区】

- ・ 児童生徒会、縦割り活動の充実
- ・ 日課（時間割）調整による活動時間の共有
- ・ 中学校教科担任の小学校乗り入れ授業（英語、算数、音楽）
- ・ 校内研修・授業公開研究の実施

【鴛泊地区】

- ・ 小中連携交流会・研修会を定期的で開催し、教育局指導主事訪問等にあわせアドバイスを受けるなどの機会を設定
- ・ コアチーム（教務部、指導部、研修部に分かれた一般教職員のチーム）による協議
- ・ 系統的な「総合的な学習の時間」について、9年間を見通した目標、活動内容に整理して実施。
- ・ 鴛泊小中運動会の合同開催と児童生徒会同士の相互協力
- ・ 小学校高学年を対象とした中学校での英語授業
- ・ 指導工夫改善加配教員による、算数・数学の小中連携乗り入れ授業や習熟度及びT T指導授業

【自己評価】

鴛泊地区で行われた合同運動会については、小中教員、児童生徒の頑張りやつながりが随所に盛り込まれ、保護者をはじめ観客に高評価であった。ただし、小中一貫教育を推進していくなかで、年度末に入ってとくに鴛泊地区において小中学校の教員同士の関係性や連携に解れが生じた。

【今後の課題】

研修や会議のときばかりでなく、ふだんの授業や教材研究などを共有しながらお互いの

情報交換や歩み寄りなどに加え、教育委員会（推進協議会）として、一貫教育を推進する目的や目標の明確化など次年度に向けた改善点が浮き彫りとなった。

一貫教育の意義や学校では何をやっているかなど、保護者や地域への周知や広報に課題がみられた（次年度、通信等の発行についても検討する）。

・全国学力、学習状況調査の結果（4/18）

単位：％（平均正答率）

小6（19名）	国語	算数	全体
本町（北海道）	68.0(67.0)	59.0(61.0)	63.5(64.0)
中3（17名）	国語	数学	全体
本町（北海道）	62.0(58.0)	50.0(51.0)	56.0(54.5)

【自己評価】

町全体の数値としては、北海道の平均前後に近似している。学力向上に対する課題は、各校で取り組んでいる個に応じた指導や授業改善の充実を図ることのほか、家庭における学習習慣の定着や生活習慣の改善に対する継続的な声かけにあり、タブレットの家庭への持ち帰りによって、キュビナによる基礎基本能力の定着化を促進し、学年プラス10分など取り組み時間を目安に、家庭と連携、協力し、学習意欲の向上と継続的な学習習慣の定着を図った。

【今後の課題】

上表では示していないが、地区別で差もあることから、同校種間の合同授業や交流機会をもたせるなどの課題もある。とくに、鴛泊小学校においても複式学級が開設される事態となり、今後も常態化することが予想されることから、利尻小学校での実績や取り組みを互いに交流し反映させていく必要がある。

・各種検定受検料助成

例年、小・中学生を対象とした漢字・算数・数学・英語検定の受検料を助成しているが、
 下図表は助成当初からの受検率・合格率に全国学力・学習状況調査結果を相関させたもの
 である。

漢検受検状況と全国学力・学習状況調査との相関資料

年度	校名	検定	在籍数	1回目				2回目				助成事業等の内容
				受検人数	受検率	合格者数	合格率	受検人数	受検率	合格者数	合格率	
R1	漢検(鴛泊小)	漢検	85	26	30.6%	26	100.0%					検定助成開始(漢検:小3~中)
R2		漢検	76	31	40.8%	30	96.8%					全学年対象に拡大
R3		漢検	74	24	32.4%	21	87.5%					
R4		漢検	67	35	52.2%	33	94.3%	1	1.5%	1	100.0%	1回目合格者に対し2回目助成
R5		漢検	58	57	98.3%	42	73.7%	6	10.3%	5	83.3%	小中一貫教育導入
R6		漢検	57	56	98.2%	44	78.6%	4	7.0%	4	100.0%	
R1	漢検(鴛泊中)	漢検	52	14	26.9%	10	71.4%					検定助成開始(漢検:小3~中)
R2		漢検	50	12	24.0%	10	83.3%					全学年対象に拡大
R3		漢検	49	11	22.4%	9	81.8%					
R4		漢検	41	32	78.0%	13	40.6%	3	7.3%	0	0.0%	1回目合格者に対し2回目助成
R5		漢検	34	18	52.9%	10	55.6%	1	2.9%	0	0.0%	小中一貫教育導入
R6		漢検	34	20	58.8%	7	35.0%	1	2.9%	0	0.0%	

全国学テ

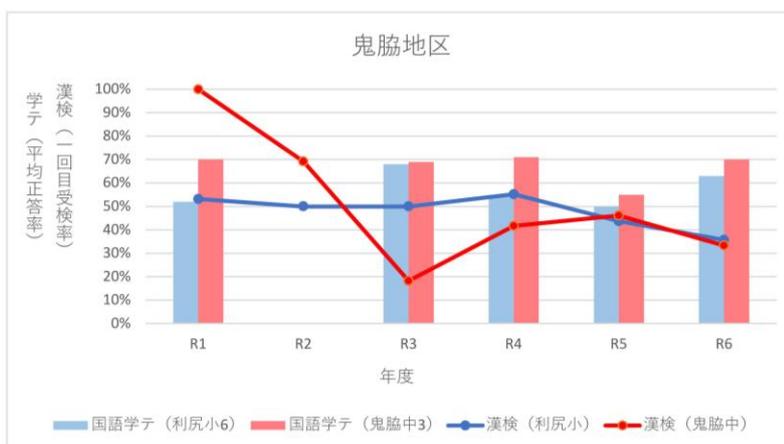
年度	校名	受検人数	平均正答率
R1	国語学テ(鴛泊小6)	16	70%
R2	コロナ未実施		
R3		11	58%
R4		10	81%
R5		13	70%
R6		13	71%
R1	国語学テ(鴛泊中3)	18	70%
R2	コロナ未実施		
R3		19	53%
R4		15	75%
R5		11	72%
R6		11	58%



年度	校名	検定	在籍数	1回目				2回目				助成事業等の内容
				受検人数	受検率	合格者数	合格率	受検人数	受検率	合格者数	合格率	
R1	漢検(利尻小)	漢検	32	17	53.1%	12	70.6%					検定助成開始(漢検:小3~中)
R2		漢検	36	18	50.0%	18	100.0%					全学年対象に拡大
R3		漢検	34	17	50.0%	17	100.0%					
R4		漢検	29	16	55.2%	12	75.0%					1回目合格者に対し2回目助成
R5		漢検	32	14	43.8%	7	50.0%					小中一貫教育導入
R6		漢検	28	10	35.7%	7	70.0%					
R1	漢検(鬼脇中)	漢検	14	14	100.0%	6	42.9%					検定助成開始(漢検:小3~中)
R2		漢検	13	9	69.2%	3	33.3%					全学年対象に拡大
R3		漢検	11	2	18.2%	2	100.0%					
R4		漢検	12	5	41.7%	1	20.0%					1回目合格者に対し2回目助成
R5		漢検	13	6	46.2%	2	33.3%	2	15.4%	2	100.0%	小中一貫教育導入
R6		漢検	18	6	33.3%	2	33.3%					

全国学テ

年度	校名	受検人数	平均正答率
R1	国語学テ(利尻小6)	3	52%
R2	コロナ未実施		
R3		6	68%
R4		2	54%
R5		6	50%
R6		6	63%
R1	国語学テ(鬼脇中3)	3	70%
R2	コロナ未実施		
R3		3	69%
R4		2	71%
R5		4	55%
R6		6	70%

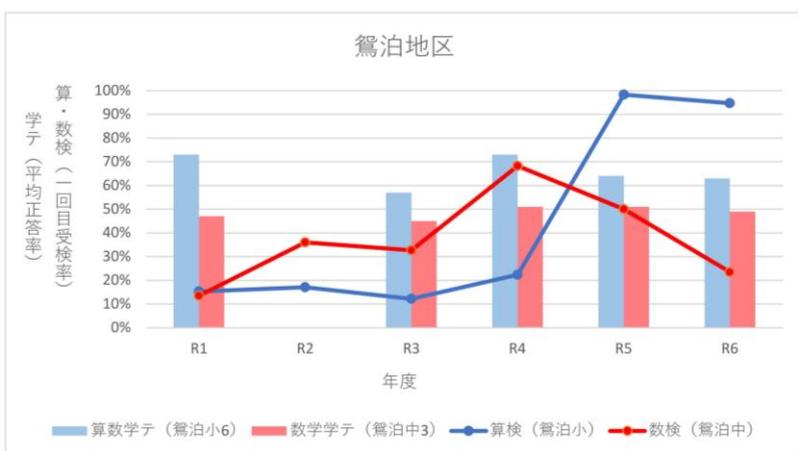


算検・数検受検状況と全国学力・学習状況調査との相関資料

年度	校名	検定	在籍数	1回目				2回目				助成事業等の内容
				受検人数	受検率	合格者数	合格率	受検人数	受検率	合格者数	合格率	
R1	算検(駕泊小)	算検	85	13	15.3%	11	84.6%					検定助成開始(算・数検:小3~中)
R2		算検	76	13	17.1%	11	84.6%					全学年対象に拡大
R3		算検	74	9	12.2%	7	77.8%					
R4		算検	67	15	22.4%	14	93.3%	2	3.0%	1	50.0%	1回目合格者に対し2回目助成
R5		算検	58	57	98.3%	45	78.9%	12	20.7%	10	83.3%	小中一貫教育導入
R6		算検	57	54	94.7%	46	85.2%	7	12.3%	6	85.7%	
R1	数検(駕泊中)	数検	52	7	13.5%	3	42.9%					検定助成開始(算・数検:小3~中)
R2		数検	50	18	36.0%	12	66.7%					全学年対象に拡大
R3		数検	49	16	32.7%	14	87.5%					
R4		数検	41	28	68.3%	10	35.7%	1	2.4%		0.0%	1回目合格者に対し2回目助成
R5		数検	34	17	50.0%	10	58.8%	2	5.9%	2	100.0%	小中一貫教育導入
R6		数検	34	8	23.5%	7	87.5%					

全国学テ

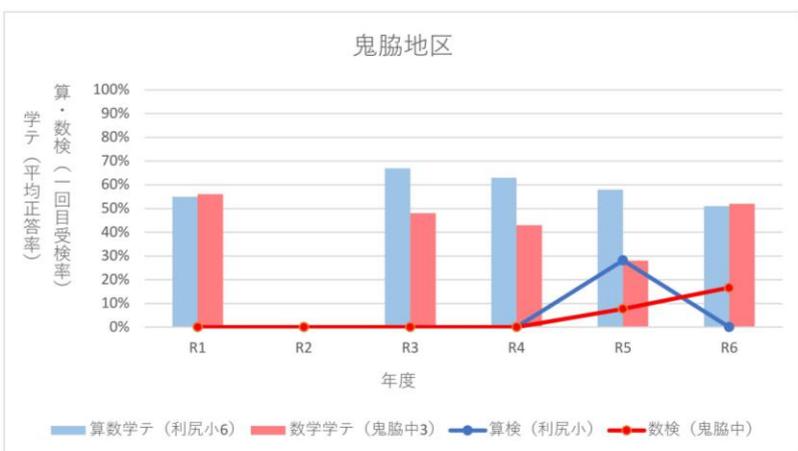
年度	校名	受検人数	平均正答率
R1	算数学テ(駕泊小6)	16	73%
R2		コロナ未実施	
R3		11	57%
R4		10	73%
R5		13	64%
R6		13	63%
R1	数数学テ(駕泊中3)	18	47%
R2		コロナ未実施	
R3		19	45%
R4		14	51%
R5		11	51%
R6		11	49%



年度	校名	検定	在籍数	1回目				2回目				助成事業等の内容
				受検人数	受検率	合格者数	合格率	受検人数	受検率	合格者数	合格率	
R1	算検(利尻小)	算検	32	0	0.0%							検定助成開始(算・数検:小3~中)
R2		算検	36	0	0.0%							全学年対象に拡大
R3		算検	34	0	0.0%							
R4		算検	29	0	0.0%							1回目合格者に対し2回目助成
R5		算検	32	9	28.1%	4	44.4%					小中一貫教育導入
R6		算検	28	0	0.0%							
R1	数検(鬼脇中)	数検	14	0	0.0%							検定助成開始(算・数検:小3~中)
R2		数検	13	0	0.0%							全学年対象に拡大
R3		数検	11	0	0.0%							
R4		数検	12	0	0.0%							1回目合格者に対し2回目助成
R5		数検	13	1	7.7%	1	100.0%					小中一貫教育導入
R6		数検	18	3	16.6%	2	66.7%					

全国学テ

年度	校名	受検人数	平均正答率
R1	算数学テ(利尻小6)	3	55%
R2		コロナ未実施	
R3		6	67%
R4		2	63%
R5		6	58%
R6		6	51%
R1	数数学テ(鬼脇中3)	3	56%
R2		コロナ未実施	
R3		3	48%
R4		2	43%
R5		4	28%
R6		6	52%

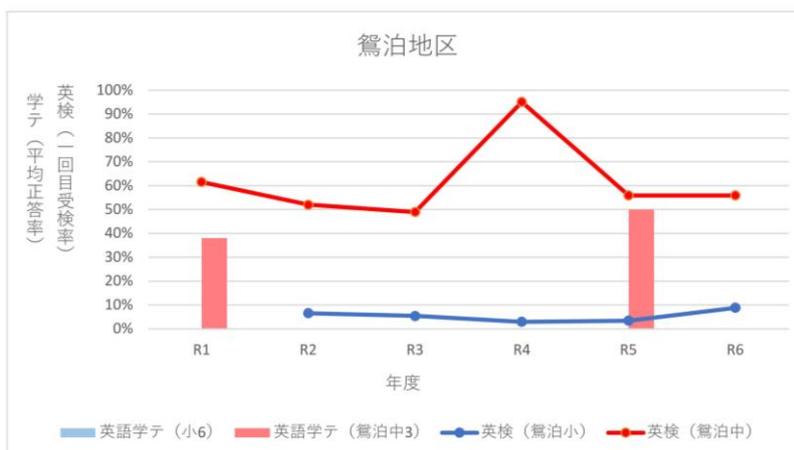


英検受験状況と全国学力・学習状況調査との関連資料

年度	校名	検定	在籍数	1回目				2回目				助成事業等の内容
				受験人数	受検率	合格者数	合格率	受験人数	受検率	合格者数	合格率	
R1	英検(鷺泊小)	英検	85									検定助成開始(英検:中学生のみ)
R2		英検	76	5	6.6%	3	60.0%					全学年対象に拡大
R3		英検	74	4	5.4%	2	50.0%					
R4		英検	67	2	3.0%	2	100.0%					1回目合格者に対し2回目助成
R5		英検	58	2	3.4%	0	0.0%					小中一貫教育導入
R6		英検	57	5	8.8%	5	100.0%	2	3.5%	2	100.0%	
R1	英検(鷺泊中)	英検	52	32	61.5%	20	62.5%					検定助成開始(英検:中学生のみ)
R2		英検	50	26	52.0%	19	73.1%					全学年対象に拡大
R3		英検	49	24	49.0%	15	62.5%					
R4		英検	41	39	95.1%	30	76.9%	11	26.8%	8	72.7%	1回目合格者に対し2回目助成
R5		英検	34	19	55.9%	11	57.9%	3	8.8%	3	100.0%	小中一貫教育導入
R6		英検	34	19	55.9%	12	63.2%	2	5.9%	1	50.0%	

全国学テ

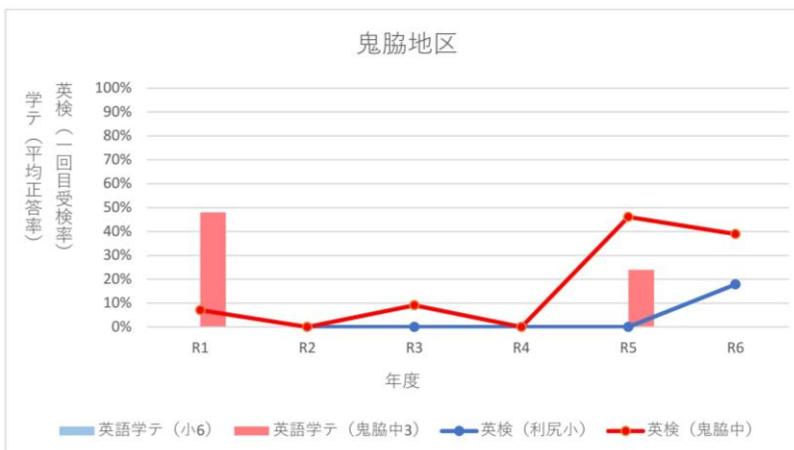
年度	校名	受験人数	平均正答率
R1	英語学テ(小6)	なし	
R2		なし	
R3		なし	
R4		なし	
R5		なし	
R6		なし	
R1	英語学テ(鷺泊中3)	18	38%
R2		コロナ未実施	
R3		なし	
R4		なし	
R5		11	50%
R6		なし	



年度	校名	検定	在籍数	1回目				2回目				助成事業等の内容
				受験人数	受検率	合格者数	合格率	受験人数	受検率	合格者数	合格率	
R1	英検(利尻小)	英検	32									検定助成開始(英検:中学生のみ)
R2		英検	36	0	0.0%							全学年対象に拡大
R3		英検	34	0	0.0%							
R4		英検	29	0	0.0%							1回目合格者に対し2回目助成
R5		英検	32	0	0.0%							小中一貫教育導入
R6		英検	28	5	17.9%	5	100.0%					
R1	英検(鬼脇中)	英検	14	1	7.1%	0	0.0%					検定助成開始(英検:中学生のみ)
R2		英検	13	0	0.0%							全学年対象に拡大
R3		英検	11	1	9.1%	1	100.0%					
R4		英検	12	0	0.0%							1回目合格者に対し2回目助成
R5		英検	13	6	46.2%	6	100.0%					小中一貫教育導入
R6		英検	18	7	38.9%	7	100.0%	1	5.6%	1	100.0%	

全国学テ

年度	校名	受験人数	平均正答率
R1	英語学テ(小6)	なし	
R2		なし	
R3		なし	
R4		なし	
R5		なし	
R6		なし	
R1	英語学テ(鬼脇中3)	3	48%
R2		コロナ未実施	
R3		なし	
R4		なし	
R5		4	24%
R6		なし	



【自己評価】

とくに駕泊小では、漢字、算数検定をほとんどの児童が受検しており、学校全体での積極的な働きかけが見て取れる。英検については、両小学校において6年生の受検率が高く、小学校での英語学習のまとめにつながる取り組みと評価できる。

【今後の課題】

学校により受検率に差があるので、町全体の取り組みとして検定を受検することのメリットを示しながら、各学校を通じて各家庭に勧奨していくことが課題である。

2 学びと質を高める環境の確立

【施策の概要】

授業改革を進めることで、子どもたちの主体的・対話的で深い学びを促す。教員の小中合同での指導方法や研修活動を深化させ、組織的な教育活動の検証と改善サイクルを充実させていく。また、生成A Iの利活用も視野に入れ、「学校デジタル推進協議会」を主体とした研修を継続する。

暑さ対策として、国交付金を活用した全校への冷房設備の導入や、学校管理規則における休業期間の延長など、ハード・ソフト両面で学習環境の改善を図る。

さらに、いじめ・不登校児童生徒の増加を含む複雑化・多様化した課題に対し、北海道医療大学との連携事業によるメンタルヘルスケアを新たに展開する。

特別支援教育については、実態に応じた指導方法や連携を通じ、支援体制の整備を推進する。

・ICT関連

【具体的な取り組み】

- ・校務支援システムやグループウェアにより、校務作業の負担軽減と効率化を図った。
- ・学校デジタル化推進協議会と連携し、教員のICTスキル向上のためのグーグルによるレベル別研修会を実施した。
- ・道教委と連携し、生成A Iを授業へ利活用する実践校（駕泊中）を設けた。
- ・A I学習アプリ（Qubena 5教科）の利活用（授業、自習、家庭学習への援用）
- ・オンライン授業等の実施（空港学習など）
- ・端末持ち帰りによる家庭学習の習慣化、学習定着の推進、出欠や健康観察等の確認
- ・デジタル教科書実証事業による教科支援（英語、算数・数学：全校）

【自己評価】

- ・実際に使用している端末OS（クローム）に沿ったレベル別内容であったので、参加者にとっても有益であった。
- ・生成A Iの取り組みについて、中学校国語の実践例を示すことができた。



【今後の課題】

- ・システムが複雑化（校務支援システムC4th、サイボウズ（おもに各種調査物や周知など教委と学校とのやりとり）、授業や学習（グーグルクローム、クラスルーム）、家庭へ

の周知や連絡（学校ホームページ、安心安全メール、グーグルフォーム）しており、統一性をもたせることが課題にある。

・駕泊中での実践例などをもとに、生成AIの授業等への活用について議論していく必要がある。

・暑さ対策

【具体的な取り組み】

全校の教室・保健室に空調（エアコン）を整備した（25箇所）。あわせて熱中症対策として「利尻富士町立小中学校熱中症対策ガイドライン」を策定した。各校に暑さ指数（WBGT）計を配備し、体育や部活動における活動可否の判断基準を設けた。さらに、夏季の教育活動における水分補給や休憩の注意喚起を徹底した。

6年度の夏季休業期間は、31日間（7月23日～8月22日）で運用している。



【自己評価】

近年の暑さ対策、子どもたちを守る取り組みとして、各校における空調整備については、国の補助金を活用し実行することができた。ただし、工期が夏休み明けにまで食い込んでしまったこと、また予想よりも気温が高くならなかったことにより、夏季に空調の効果を検証する機会がなかった。

【今後の課題】

熱中症ガイドラインをもとに各校と連携し、空調の効果的な活用を図っていく。

・いじめ・不登校、メンタルヘルスケア対策

【具体的な取り組み】

・いじめや不登校の初期段階での認知と早期対応、定期的なアンケート調査の実施及び生徒指導の交流連携を図った。また、個々の不登校の実態に合わせたケアについては、放課後登校やリモート授業の実施、生活リズムの確保と環境への適応を図った。これらの事案を含め、ケース会議等を開催し、福祉部局や民生児童委員等との連携を図った。

- ・奉仕、体験活動等、町内行事やボランティア活動への積極的参加
- ・絆づくりメッセージコンクールへの応募（啓発活動）
- ・北海道公立学校スクールカウンセラー派遣事業による学校派遣を活用し、西郷達雄氏（北海道医療大学心理科学部）による児童生徒・保護者への個別カウンセリング、ストレスなどに関する授業、教職員への助言等を下記日程で行なった。年度末には、子ども理解支援ツール「ほっと」を活用し、個別や集団（クラス）の実態を調査・集計した。
- ・各校への定期巡回（各5回）
 - 鴛小 5/21, 23, 6/18, 9/10, 10/7, 12/20
 - 鴛中 5/22, 6/18, 9/10, 10/8, 12/19
 - 利小・鬼中 5/21, 6/17, 9/9, 10/8, 12/18
 - 利高 5/22, 6/19, 9/11, 10/9, 12/19

・北海道医療大学との連携事業として、いきいきふるさと推進事業助成金を活用し、各種教室を実施するなど、今後の協定締結に向けた事業を展開した。

5/24 北海道医療大学において、教育委員会職員による出張講義（参加学生数56名）および大学と町との連携協定に向けた協議（大学側5名、町側2名）を実施。

6/30～7/3 町内各小中学校等において、心理学部教員1名・4年生4名の心理実習の受入を行ない、各校児童生徒との交流や離島地域を学ぶ体験を実施。

7/2/16～2/19 町内各小中学校・利尻高校において、心理学部教員1名・学生3名による巡回カウンセリングおよびワークショップを実施。

*学校以外に就学前、一般、高齢者向けの事業を福祉部局と連携して実施している。

10/9 利尻富士町役場において、心理学部教員1名による町職員向けメンタルヘルス研修（参加者数28名）を実施。

11/10 利尻富士町総合交流促進施設りぷらにおいて、リハビリテーション科学部教員1名・学生3名による一般町民向けの簡単な体操・運動教室（参加者数34名）を実施。

7/2/14 利尻富士町保健センターにおいて、リハビリテーション科学部教員1名・学生2名による親子（乳幼児）向けの遊びや成長発達に関する相談機会（参加者数12組）を実施。また同日、一般町民向けのフレイル予防教室（参加者数12名）を実施。2月21日には、鬼脇福祉の家において、フレイル予防教室（参加者数12名）を実施。

【自己評価】

これまでは、スクールカウンセリングの担当教員が各校を巡回する事業のみであったが、その繋がりから心理学部の学生に対する出張講義や実習受入を通じて、利尻富士町を知ってもらう機会を生み出すことができた。また、ワークショップなどを通じた町職員に対するメンタルヘルス研修により、カウンセリングへの理解や職員の心のケアに寄与することができた。さらに、リハビリテーション科学部教員や学生による一般町民・親子向けなど各世代に応じた教室を開催したことで、フレイル予防に対する高齢者の意識の変化（運動に対する継続性の大切さなど）や専門的なアドバイスによる親の子育てに対する悩み解消につながる効果が得られた。

【今後の課題】

・いじめや不登校はいつでもどこでも起こることを念頭に、常に複数の目で見守り情報を共有することで、教職員全員が児童生徒の担任であるという意識をもちながら、組織的な指導・支援を行う取り組みを充実強化することが、再発防止につながる取り組みとして肝要である。

・事業を通じて、利尻富士町にとって町民全体のこころの健康保持増進に係る機会として、専門教員と学生、住民がつながり、お互いが身近に感じられる仕組みが構築されることが課題としてある。

・特別支援教育

【具体的な取り組み】

- ・教育支援委員会と連携した特別支援学級の適正配置（新設2を含む全7学級開設）
- ・個別の教育相談や特別支援教育連携協議会との連携、情報共有
- ・特別支援教育支援員の適正配置（駕小2名、利小2名、駕中1名）
- ・特別支援学校通学等助成事業（2件）
- ・稚内養護学校のパートナー・ティーチャー派遣の活用

【自己評価】

支援員の配置や業務など、学校との認識のズレや互いの関係性に齟齬が生じた事案があり、効果的な運用が図られない部分があった。

【今後の課題】

各協議会の枠を越えた情報の共有や体制の協議など、学校・家庭・地域・行政など関係機関と連携し、全町的な課題として取り組むことが課題である。

3 地域との持続可能な教育活動の実現

【施策の概要】

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の活用により、地域ボランティアが教育活動に参画する体制を一層深める。

自然災害に備え、「1日防災学校」の内容を充実させ、子どもたちの「自分事」としての防災意識を養う。

また、国の指針に基づき、令和6年度から中学校の部活動の一部種目（サッカー部）で地域移行を開始した。これは宗谷管内でも先行モデル事例として、他の種目にも令和7年度までの移行を目指して検討を続ける。

・学校運営協議会と学校支援活動

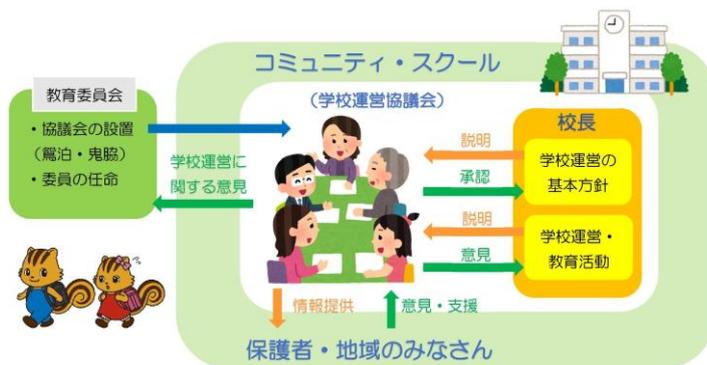
【具体的な取り組み】

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を駕泊・鬼脇地区各2回開催した。2回目については、はじめて両地区合同開催している。おもなメンバーは学校関係者（教頭、教務、PTA）、社会教育委員、自治会長、地域住民学校支援ボラなどで構成される。

学校支援活動については、学校より要望のあった学習支援を中心に別表のとおり取り組んでいる。

【自己評価】

2回目に行なった合同会議では、両地区の取り組みや地域ごとの学校からの要望などについて改めて認識されたほか、委員同士の交流にもつながった。



【今後の課題】

協議会のあり方やメンバー構成などを検討し、学校と地域が密接につながる媒体として大切であることから、実効性のある組織として運用していくことが課題にある。

令和6年度 学校支援地域本部事業活動一覧

月日	内容	派遣先	ボランティア
4/1-3/31	バドミントン部 外部コーチ指導	鴛泊中学校 鬼脇中学校	鴛中1名(工藤) 鬼中1名(工藤)
4/1-3/31	卓球部外部コーチ指導	鴛泊中学校	3名(田原、山上、佐藤)
4/10-15	新入生下校安全指導	鴛泊小学校	2名(佐々木、大関)
4/18-2/27	1・2年生に対する絵本の読み聞かせ	鴛泊小学校	読み聞かせボランティア
4/25	総合学習「地域の産業と私たち」 利尻島の職業・施設について	鬼脇中学校1年生	産業振興課 水産港政係 鬼脇漁協冷凍工場 北勝 佐々木
5/15-16	利尻神社下遺跡発掘調査校外学習	鬼脇中学校全学年 鴛泊中学校1・2年生 鴛泊小学校6年生 利尻小学校5・6年生	東京大学考古学研究室
6/4	社会科授業 「住みよいくらしをつくる水はどこから」	鴛泊小学校4年生	建設課 上下水道係
6/27	総合学習 「利尻の観光業についてのインタビュー」	鴛泊小学校5年生	1名(山谷)
6/28 7/9	第1回鴛泊地区学校運営協議会 第1回鬼脇地区学校運営協議会		
7/3	総合学習 「利尻のウニについて知ろう」	鴛泊小学校3・4年生	利尻町ユニセンター 神居海岸パーク
7/5	社会科授業 「住みよいくらしをつくるごみの処理と利用」	鴛泊小学校4年生	利尻郡清掃施設組合
10/30	鴛泊・鬼脇地区合同学校運営協議会		
8/26	社会科授業 「ふるさと教育のフィールドワーク」	鴛泊中学校 全学年	1名(山谷)
10/10,11 11/8,18, 19,21	体育科授業 柔道指導 「1年生:3回 2年生:3回」	鴛泊、鬼脇中学校1・2年生	1名(今村)
10/18	社会科授業 「資料館見学にて自然・歴史・産業について学ぶ」	利尻小学校2年生	1名(山谷)
	社会科授業 「鬼脇の歴史について学ぶ 郷土資料館・南浜獅子神楽について」	利尻小学校3・4年生	1名(山谷)
11/25	保健体育科授業 「心肺蘇生法について学ぶ」	鬼脇中学校2・3年生	消防利尻富士支署 警防係
2/14	総合学習 「漁業の魅力と未来を発信しよう」①	鴛泊中学校2年生	鴛泊漁協
2/18	総合学習 「漁業の魅力と未来を発信しよう」②		産業振興課 水産港政係
2/25	総合学習 「サケについて知ろう」	鴛泊小学校3・4年生	産業振興課 水産港政係
3/11、12	国語科 「百人一首を体験しよう」	利尻小学校3・4年生	1名(熊谷)

・ 1 日防災学校の実施

【具体的な取り組み】

町・振興局防災部署や气象台、自衛隊等と連携した一日防災学校の取り組みを行った。

- ・ 利尻小・鬼脇中（9/19）消防署（避難訓練）、町企画政策課（防災カルタ、段ボールベッド、ハザードマップ作り、DOはぐ）
- ・ 鴛泊小（9/18）地震火災避難訓練（シェイクアウト）、振興局・町企画政策課（防災講話、防災カルタ・クイズ、段ボールベッド作り）
- ・ 鴛泊中（6/30）消防署（避難訓練）、自衛隊（講話、担架づくり、炊き出し体験）

【自己評価】

各学校における 1 日防災学校の報告書記載の評価や課題について、以下に挙げる。

- ・ 利尻小 児童にとっては、被災した際の行動の在り方や、町の危険な箇所、避難所設営などを通じて、どのような行動をするべきなのか理解し、かつ防災に関する関心意欲態度が高まった。教職員にとっては、関係機関からの説明がわかりやすく、児童の知識・理解が深まり、かつ教職員にも参考になった。また避難する際の在り方について、見直すきっかけとなった。また、関係機関の助言：避難所設営やハザードマップ作製するにあたり、防災士から段ボールベッドの有用性や、町を探索するための留意点などの助言を受けた。
- ・ 鬼脇中 生徒にとっては、DO はぐを通じて、実際の地域の様子や避難所での生活をイメージすることができ、災害時に自分たちができることは何かについて想像を膨らませることができた。教職員にとっては、関係機関からの説明がわかりやすく、児童の知識・理解が深まり、かつ教職員にも参考になった。また避難する際の在り方について、見直すきっかけとなった。関係機関の助言として、避難所へ逃げてくる人の中には、観光客や負傷している住民、高齢者など様々な人が来ることを理解し、実施することが必要との助言を受けた。
- ・ 鴛泊小 自然災害について正しく理解し、防災・減災行動について自ら考え、判断できる能力を育成することができた。
- ・ 鴛泊中 避難訓練の際、傷病人を模擬的に置いたことや休み時間中に行ったことで、正しい避難経路を知った上で、自分の身を守るために臨機応変な判断・行動ができるようになった。自衛隊の方の講話によって、被災地の状況や救難の方法など写真を見ながら知ることによって、被災した際のイメージや備えておくの良いものについてイメージを持つことができた。AED や胸骨圧迫、簡易担架の作り方、その場にあるものでできる止血法等の体験を行うことによって、周りの人や自分を守るための心構えを持つことができた。

【今後の課題】

- ・ 利尻小 実際に災害が起きた際の経路の確認や担当内容の周知徹底が不十分であった。再度詳細に説明を行い、災害時に迅速な対応ができるようにしていく。
- ・ 鬼脇中 実際に災害が起きた際の経路の確認や担当内容の周知徹底が不十分であった。再度詳細に説明を行い、災害時に迅速な対応ができるようにしていく。
- ・ 鴛泊小 低・中・高学年に分かれて学習を行っているので、来年度は内容がかぶらないように実施していきたい。

- ・ 駕泊中 住民にも声をかけたが、保護者・関係者以外の来校はなかった。学校で行うことで参加しづらさがあるように感じた。

・ 部活動の地域移行

【具体的な取り組み】

国の実証事業として、サッカー協会を母体とした運営体制による部活動の一部地域移行を試行実施した。地域移行検討協議会を3回開催し、コーディネーターによる地域移行の仕組みや目的、など委員と共通理解を図った。令和7年度からのバドミントン部地域移行に向けて、利尻富士町バドミントン協会が設立されたのに伴い、保護者説明会などを実施した。また、利尻富士町地域クラブ活動事業実施要綱を制定し、7年度にサッカーとバドミントン（指導体制は駕泊が休日、鬼脇が平日・休日）とも町からの委託事業として位置づけ実施できるよう体制を整えた。

【自己評価】

サッカー協会を母体とした利尻FC発足に伴い、教職員を含めた指導者の確保など体制づくりや島内外への活動のPRなど積極的に行い、宗谷管内でも先行事例として評価されている。

【今後の課題】

学校体育館使用（学校開放）の調整のほか、団体と教育委員会との密な連絡体制に課題を残した。また、将来的に、報酬等の支給や財源など、公費のみによらない財源の確保（会費負担や企業版ふるさと納税など）や教職員指導者がいない場合の事務手続きや継続的な指導体制づくりが課題としてあげられる。

・ 教職員の資質・能力の向上と環境整備

【具体的な取り組み】

- ・ 「学校における働き方改革アクション・プランⅢ」に沿った取り組みの実施。
- ・ 校務支援システム（C4th）による時間外勤務状況の把握と分析、公表
- ・ 留守番電話サービスの継続

運用時間：教職員の勤務時間外（午後4時35分～午前8時5分）を基本とし、土日祝日や振替休業日、学校閉庁日を対象

- ・ 長期休業中における学校閉庁日の設定

夏季：駕泊小、利尻小・鬼脇中 10日間（8/9-18）、駕泊中 9日間（8/10-18）

冬季：各校 9日間（12/28-1/5）

【自己評価】

アクション・プランに沿った取り組みを適宜進めることができています。

【今後の課題】

在校等時間の見える化を一層推進し、教職員が児童生徒に向き合い、やりがいのある職場環境の整備が課題である。



アクション・プランⅢ

4 生涯学習と社会教育の充実

【施策の概要】

「利尻富士町生涯学習推進計画」に基づき、「学びあい」「ふれあい」「活かしあい」を基本目標とした事業を充実させていく。子どもたちの安全な居場所づくりのための「放課後子ども教室」や「チャレンジ教室」の継続的な実施、スポーツ事業の効率的なリニューアル、町外との子ども交流事業の推進、そして文化芸術に触れる機会や文化財の調査・保護などを継続する。

利尻高等学校の普通科一問口化後も、小中高12年間を見通した学びとして、キャリア教育や特色ある商業クラブ活動への支援を続けていく。

・子どもたちの安全な居場所づくり

【具体的な取り組み】

・放課後子ども教室事業

平日放課後子ども教室 44名登録（鴛泊212日開催、鬼脇166日開催）

水泳教室 43名（17回開催）

バドミントン教室 鴛泊3名（16回開催）、鬼脇10名（45回開催）

カルタ教室 7名（28回開催）

鴛泊スキー教室 24名（6回開催）

絵画教室 5名（5回開催）

・町青少年健全育成町民会議事業

8/6-9 夏休みチャレンジ教室 児童生徒27名、教育大旭川校学生7名

【自己評価】

これまで放課後や週末に子どもたちが、地域社会の中で安全で安心して過ごせる活動拠点（居場所）が提供されてきたが、とくに「平日・一日ふじっ子教室」は、低学年の児童をもつ保護者にとっては、必要不可欠な場であるにとらえてきた。そのような声を背景に今後も指導体制の強化や整備を図り継続することに重きを置きたい。

【今後の課題】

町外の子どもの交流については未実施のため、内容等含め次年度への課題である。また、社会教育事業については、全体を通じて社会教育委員の意見等を反映させるため、会議を2回開催し、事業への参画などを促しながら進めていく。

・各種スポーツ事業、イベント

6/2 第22回利尻島一周悠遊覧人G

8/25 第34回利尻島一周ふれあいサイクリング

9/29 第37回防犯交通安全さわやか駅伝大会（11チーム）

2/8 第35回雪ん子広場

2/9 りしり寒飲まつり

2/16 町民スキー大会

2/23 防犯交通安全室内サッカー大会

ナイタースキー教室（鬼脇 2月4回）

・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の実施

小5（17名）	男子	女子
本町（北海道）	53.4(50.3)	41.1(50.4)
中2（11名）	男子	女子
本町（北海道）	49.5(48.7)	52.5(47.9)

*全国を50としたときの数値

【種目】

握力 上体起こし
 長座体前屈 反復横とび
 20mシャトルラン
 50m走 立ち幅とび
 ハンドボール投げ

【自己評価】

わんぱくマラソン・駅伝については、事業の見直しを図り駅伝大会に注力した。全国体力・運動能力調査では、小5女子が50m走の数値が大幅に低く全道平均を下回っている。

【今後の課題】

イベントにおいては、たとえば利尻島一周悠遊覧人Gは運営の仕組みやスタッフの確保や負担などに課題があるものの、中高生スタッフの関わりも増えていることから、適宜見直しを図り、新たな発想やニーズなどを採り入れることがイベントに継続性をもたせることにつながると考えられる。

現状を自校分析などにより把握するとともに、地域のスポーツ団体や行事等と連携し、体力・運動能力向上に努めることが課題である。

・文化活動、図書関係事業

【具体的な取り組み】

・町文化協会、文化団体活動への支援等

8/23 劇団四季公演鑑賞（利礼3町）

11/2 町文化祭総合開会式

11/9-10 鬼脇地区一般作品展

11/23-24 一般・子ども作品展 りぷら

3/8 春風コンサート

・公民館・図書関係事業

集いの場の提供として、高齢者向けサロンや子育て世代懇談会の実施。

読み聞かせボランティアによる学校支援やブックスタート事業の実施。

道立図書館移動図書（前後期 各300冊）

公民館図書新規購入（60冊）

第38回読書感想文コンクール（応募総数80点）。

12/8 そば打ち教室

【自己評価】

子ども作品展の準備については、従来教頭業務であったものを教委主導、学校は協力という形で進めた。

感想文コンクール審査やそば打ち教室では、より専門的なアドバイザーや講師などの参画により事業の深化が図られた。

【今後の課題】

作品展出品の充実化やスタッフの確保などが課題である。

・文化財保護事業

【具体的な取り組み】

- ・町指定文化財の維持管理及び郷土資料の収集・調査の継続
主な収集資料（道開拓記念館離島調査資料、本泊神社奉納物「鰐口」など）
北海道デジタルミュージアムへの資料登録 *右QRコード参照
- ・講座・普及事業
学校授業等支援活動の実施
7/15 外来種防除会 北麓野営場
9/25 第9回フィールド発表会 公民館
8/3-9/8 管内巡回展「宗谷の自然公園」 カルチャーセンター
広報等による広報活動の推進
レファレンス対応（ルーツ探し、調査、視察、各種取材）
- ・調査研究事業
5/9-18, 10/12-19 東京大学との利尻神社下遺跡共同調査
5/15-16 小中校外授業の受入れ 10/19 現地説明会
- ・利尻しまじゅうエコミュージアムとの連携



【自己評価】

遺跡調査では、町内全校に対し校外学習を行うことができた。また、道北では初の発見資料となるなど大きな成果を挙げている。

【今後の課題】

着実に成果が出ているので、さらに調査範囲を拡張し遺跡の性格を明らかにしていく。その過程で、説明会や講座などを開催しながら、住民の理解と周知を進めていくことが課題にある。

・社会教育施設利用者数 *カッコ内は前年比

総合体育館	1974人 (-686)	パークゴルフ場	1382人 (-42)
スキー場	771人 (鬼脇のみ)	翔武館	585人 (-68)
地域青少年会館	1059人 (+459)	野球場	588人 (+530)
公民館	1393人 (-293)	郷土資料館	8215人 (+2058)

*施設の利用増の要因

地域青少年会館：ダンスやシャトルラン等の利用増

野球場：中学生クラブ（ラグナルズ）の利用増

郷土資料館：個人客の利用増

- ・利尻高校への支援

- ・各種補助金

 - 商業クラブ活動、体育文化後援会活動、模擬試験

 - ふるさと教育（全島一周、利尻山登山、礼文島トレッキング）

- ・島内事業所見学会の受入（高1）

- ・総合的な探究の時間（学習成果発表会）

- ・中高連携協議会への支援

- ・保護者等への教育支援

- ・準要保護扶助費の状況

 - 小学校2名 中学校1名

- ・育英資金貸与の状況

 - 継続3名（大学2名、高校1名）

 - 新規3名（高校2名、専門学校1名）

- ・学校給食費の無償化

 - 町の子育て支援策として、昨年度に引き続き無償化

各種参考資料

利尻富士町教育大綱 2024年度～2026年度

利尻富士町学校教育推進計画 2024年度～2028年度

利尻富士町立学校における働き方改革アクション・プランⅢ（2024年3月改訂）

第3期 利尻富士町生涯学習推進計画 2021年度～2030年度

第3期 利尻富士町子ども読書プラン 2022年度～2026年度

令和6年度 利尻富士町社会教育年報